

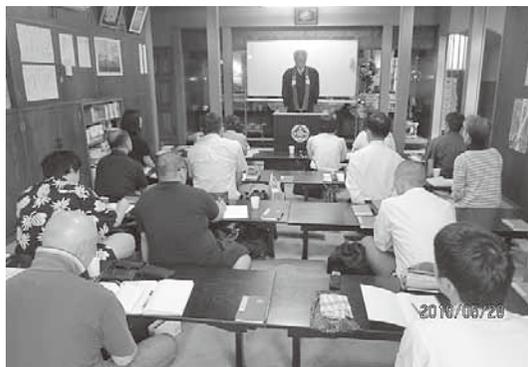
● 護持会総会報告 詳細は2頁

● 報恩講兼住職継承奉告法要 十月二十七日(日) 午前十一時厳修 詳細は3頁

● 聞法会ご案内 詳細は4頁

● 本山上山ご案内 詳細は4頁

● 子供会報告 詳細は5頁



聞法会の様子



お盆勤行の様子



お盆法要の様子

光照寺寺報

発行所
真宗大谷派 弘興山
宗教法人光照寺

〒331-0821
さいたま市北区別所町102-2

電話：048-651-2781代
FAX：048-651-2753

E-mail
yasuragi@beige.ocn.ne.jp

ホームページ
http://koshoji76.jp

発行人 住職 池田孝三郎

護持会総会報告
 淡海 雅子

二〇一八年度 第二十回光照寺護持会総会が六月三十日十時から光照寺本堂において多数の参加と共に開催されました。

勤行（正信偈同朋奉讃）に引き続き、婦人有志と子供達の有志の皆様に合わせて仏教讃歌「真宗宗歌」・「しんらんさま」を唱和しました。

法話はいずみ会館館主佐々木玄吾師に「蓮如上人御一代記聞書」より「あさつとめにかかさじと、たしなめ」と題しお話頂きました。一日の嗜みは勤行を一月の嗜みは聞法会に出る。一年の嗜みは本山へ上山する。この赤尾の道宗の仏法に向き合う態度のお心は自分の為であると共に他人の為であると。その営みこそが親子に子から孫へと仏法が伝わることに繋がっていくのだとお話頂きました。

前御住職様が三月三十一日に浄土に還帰されました。護持会総会に先立ち住職様より前住職様の御功労を偲び哀悼の意を表すると共に新任職に継承されたのご挨拶がありました。

総会は平山氏を議長に議案に入りました。前年度の護持

会の活動実績及び、護持会の収支決算と監査が報告され全会一致で承認されました。護持会副会長三輪民子氏が逝去され、土田一富三氏、北川美智雄氏が庶務を退任されました。今年度の活動計画案及び、今年度の収支予算案が提案され何れも原案通り可決承認されました。

今年度の第二十九回報恩講は十月二十七日に住職継承奉告法要と合わせて厳修されます。光照寺旅行は奉仕団として十二月十一日から一泊二日で本山上山を企画いたしました。本山での法名授与ができました。住職様より聞法会の内容紹介と参加の呼びかけがありました。大塚氏より子ども会「ポニークラブ」の紹介がありました。

その後、お齋を頂きながら参加者からお寺とのご縁を結ばれた経緯の話がありました。お齋のあと、「源信」と母からの手紙」が絵解きサークルにより解説されました。又、「モアナアイ」によるタヒチアンダンス・フラダンスが披露され南国の情緒を味わいました。護持会員もダンスに参加し笑いを誘い楽しい時間でした。最後に全員で仏教讃歌「恩徳讃」を唱和し閉会いたしました。

今後とも皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



タヒチアンダンス



タヒチアンダンス



一緒に踊りました



IZUMI先生のフラダンス



総会の様子



絵解きサークル発表



佐々木先生ご法話



婦人子供有志合唱

報恩講兼住職継承奉告法要

【報恩講は宗祖、親鸞聖人のご恩徳に報謝し、いのちの道理を深く尋ねる法要で、一年の中で最も大切な仏事です。真宗門徒として必ず勤める法要であり、光照寺の今年度最後の大きい法要です。是非ともご参詣下さい。】

本年は本明義樹先生（真宗大谷派聖教編纂室主任編纂研究員・京都教区専光寺住職）をお迎えして報恩講を勤修致します。また、住職継承奉告法要を兼ねて勤修します。記念の法要ですので、ご家族、縁者お誘い合わせの上、多くの方々のご参詣をお待ちしております。
住職（釋徹照）

報恩講兼住職継承奉告法要

- ・ 10月27日(日)
- ・ 午前11時～3時30分頃(10時30分受付)
- ・ 場所 光照寺本堂
- ・ 日中法要厳修
- ・ 記念撮影
- ・ お斎(お食事)
- ・ 来賓・住職・総代挨拶
- ・ 法話 本明 義樹先生
(真宗大谷派聖教編纂室主任編纂研究員・京都教区専光寺住職)
- ・ 講題 「悲喜の涙を抑えて」
- ・ 質疑応答

プロフィール:

1972年生まれ。大谷大学大学院博士課程満期退学。大谷大学聖教編纂室にて坂東本『教行信証』等の翻刻事業に従事する。真宗大谷派教学研究員を経て、現在、真宗大谷派聖教編纂室主任編纂研究員。博士(文学)。

先生よりメッセージ:

先代ご住職さまからいただいたご恩、さらには真宗のみ教えを聞信されてきた無数の念仏者のご恩というものに改めて思いをいたし、親鸞聖人と出会うことのできた私たち自身の聞法の歩みを確かめさせて頂きたいと思ひます。

●先生の書著:

論文に「親鸞における本願力回向開頭の意義一坂東本『教行信証』を精読して」など多数。

※準備の都合上、出席の際は、10月20日前にはお寺にご連絡下さい。

- 午前 10:30 受付
- 11:00 勤行
- 12:00 親鸞聖人銅像前にて記念写真撮影
- 12:30 お斎(昼食・感話)
- 午後 1:15 来賓・住職・総代挨拶
- 1:30 法話
- 3:00 質疑応答
- 3:30 終了予定

ひと 歎異抄

羅漢:往生極楽のみちはいかなるものか
「親鸞におきては、ただ念仏して、弥陀にたすけられまいらすべし。」

第2章



「よきひとのおおせをかぶりて、信ずるほかに別の子細なきなり」「いづれの行もおよびがたき身なれば、とても地獄は一定すみかぞかし」

川越喜多院の五百羅漢

「親鸞聖人のみ教えに聞く会」

■ 講師 延塚 知道先生(大谷大学名誉教授)

■ 日時 十月十九日(火)、二〇二〇年二月二十八日(火)午後二時半～四時半

■ 会場 光昭寺本堂 会費五〇〇円 是非ご参加下さい。

(二ヶ月に二回開催しております。日程はHPをご確認下さい。)

「光昭寺奉仕団(京都本山上山)及び 帰敬式受式(生前法名授与)」参加者募集

本年は「光昭寺奉仕団」として、京都本山へ上山することを企画しました。帰敬式(生前法名授与)を合わせて実施します。

帰敬式とは、限りある人生を仏教に帰依し、お念仏のみ教えを依り処として歩む宣言をさせて頂くことです。当寺住職がご参加の方と相談の上、相応しい法名をお贈り致します。また、荘厳な京都東本願寺本山の新しくリニューアルされた同朋会館に宿泊して、本山で帰敬式を受けて法名を頂くことは格別な感動があります。この機会に多くの方が受式されますようご案内申し上げます。

なお、すでに帰敬式を受けられている方はご家族・ご親戚の方に受式をお勧め下さいますようお願い申し上げます。受式をしないで奉仕団だけの参加も可能です。合掌

- 一、上山期日 二〇一九年十二月十一日(水)～十二日(木)(一泊二日)京都本山現地集合・解散
- (※当日は十時三十分京都本山集合。同朋会館に宿泊(翌朝帰敬式))
- 二、申し込み方法 当寺へご連絡下さい。
- 三、費用 13,800円(莫加金+米代)、帰敬式受式希望の方は別途礼金がかかります。
- その他の費用(本山以外の宿泊費・交通費・観光費など)は、別途自己負担になります。
- 四、申し込み期限 二〇一九年十月二十日まで

※ご不明な点はお電話下さい。



京都東本願寺



延塚知道先生

真の依り処

私はなぜここに在るのかしら、その内に死んでいなくなる身ですの。聞いた話に一生を悔いなく生ききった人には死の恐怖がないと。私は悔いる事ばかり、それでなぜ生まれ来たのかと罪悪深重のこの身が悲しく涙がほほを濡らします。息子二人は私にどう生きてほしいのかと思ひ、又、願っているのかと。学びは現に生きている私にしかできない事だし、私のやるべきことだと思ひます。武田定光先生のなぜからはじまる歎異抄で(第九条)煩惱の者こそ助けようと阿弥陀の本願が用いているのだから信仰は全身を挙げて取り組む課題ですから課題を解明された人に大きな感動が生みまます。それを光明体験と言つたりしますと。ああ：阿弥陀さまの愛につつまれあるがままのすがたで。南無阿弥陀佛。岡ノリ子

鈴の音

しっかりせねばならぬというのが自力の一心。のどかな春のような心になるのが他力の一心

曾我量深
(曾我量深講義集第十三巻 正信の道より)

子供会報告

光照寺子ども会ポニークラブ
タヒチアンダンス体験&水遊び。

大塚 陽子

猛暑続きとゲリラ雷雨と天候に悩まされたこの夏です。今回は八月二十日(火)、子ども七名大人七名の参加により、勤行をし、自己紹介の後、

前坊守による替え歌を皆んなで歌い午前中はMoanaのIZUMI先生指導によるタヒチアンダンスの体験をしました。TeVaiNeiという曲に合わせて腰にパレオをまき踊り南国気分を味わいました。お昼はお好み焼きとソーメンを食べました。午後は南の聖地にてプールで水

遊びをしたり、スイカ割りをして楽しみました。元気な子供達の歓声に圧倒されました。お寺の本堂では、紙しばいの読み聞かせもして最後は恩徳讀にて解散しました。次回の子ども会は、十二月二十四日(火)です。皆さまのご参加をお待ちしております。



本堂にて



これが楽しい



スイカ美味しかった



ソーメン美味しい



タヒチアンダンス



ダンス難しかった



プール気持ちいい



当たるかな



紙芝居



水テッポウが面白い



仲良しだよ



寺務所より

◆法要のご案内

●報恩講兼住職継承奉告法要

十月二十七日(日)午前十一時より厳修。講師は本明義樹先生(真宗大谷派聖教編纂室主任編纂研究員・専光寺住職)

●修正会

二〇二〇年一月二日元旦、午後二時より厳修。新年を阿弥陀如来のご尊前より出発致します。

◆光昭寺奉仕団(京都本山上山)

及び帰敬式参加者募集

二〇一九年十一月十一日(水)〜十二日(木)二泊三日で本山へ上山します。十月十日までに当寺へお申込ください。

◆聞法会のお知らせ

●親鸞聖人のみ教えに聞く会

講師は延塚知道先生(大谷大学名誉教授)十一月十九日、二〇二〇年一月二十八日、午後二時半〜四時半。『教行信証』を学んでいます。

●大経の会

十月五日、十一月二十三日、十二月一日、午前十時〜午後三時。講師は佐々木師と住職の担当月別。『正信偈讃仰』(二)を学んでいます。お弁当持参して下さい。

●我聞の会

十月二十一日、十二月十二日、十二月十七日、午後一時〜四時。歎異抄を学んでいます。講師は住職。

●微風学舎

十月十五日、十一月十八日、十二月二十三日午後七時〜九時。講師は住職。『高僧和讃講義(一)』(延塚知道著)を学んでいます。

◆真宗に学ぶつどい(埼玉親鸞教室)

十二月十二日、二〇二〇年二月二十日、午後二時三十分〜四時。会場は一心寺。講師は四衢亮氏。

◆永代供養

願人、川崎フミ様。永代供養懇志六月に納金されました。

◆お願い

ご自宅で法事の際は駐車場をご用意下さい。電話番号変更の際は必ずご連絡下さい。宜しくお願いします。

俳句・川柳

吉澤 光昭

秋落暉海に不変の太古より
水澄みて流るる時の早さかな
金賞の作者破顔や菊花展
蒼穹の伴侶となりぬ秋夕焼
渡り鳥一声聞へ遠さかり

山田 恒

切れたのに未だ浮いている昼の月

故郷の空には何も書いてない

短歌(詩)

佐々木 玄吾

先師から家庭の成就が何よりと
はがきに托しわかれに勧めり
成就とは念仏の人になれよかし
子孫に伝え此願に生きん

赤秀 品枝

熱き日々電気と水の無いくらし
いつまで続く被災地の夜
この夏は猛暑に負けて寝てばかり
精進目標どこかに失せて

篠原 潤子

イカ漁師ねじり鉢巻き奮しよ
祖父の船出る松前漁港
ワカメ昆布鰯イカ鮓どる漁師
ぶ厚くひろい祖父の背ながす
イカ漁師浜におりゆく奮しよ
ドットドット祖父の背ゆれる
大漁の旗をかかげて船もどる
浜はざわめく笑顔が満つる
夢の中、和服姿の祖父が立つ
無言のまま何をか語る

山田 恒

又一人星を訪ねて旅立ちぬ
句集に君はまだ居座っている
さやさやと秋風渡るペランダに
夕陽が光る空蟬ひとつ



白馬秋景
山田 邦興 画

梵鐘

先日、年賀状の整理をしました。光昭寺からの年賀状の中に：「月を指す 指とぞならん 玉響のいのち尽くさん 往還の道」とありました。今春、お浄土に還られた前御住職の念仏への熱き思いが伝わってきます。

私は身近な肉親を立て続けに亡くしたことを縁として光昭寺の門徒となりました。当時は喪失感で生きる気力さえも失っていました。ですが寺で多くの「よき友」を賜りました。それらの方々に学び、励まされながら、今日まで歩んできました。初めて参加した聞法会。あの日の前御住職の笑顔が今も胸に浮かびます。合掌

藤原自雄